



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】「影響力のある」話し方
佐藤 昌弘 著 三笠書房
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2014年10月1日 Vol. 144
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-67-8006 FAX 0554-22-2859

由来

最近日本でも秋のイベントとして定着し盛り上がっていますが、10月31日はハロウィンです。今回はそんなハロウィンの由来について少しお話します。

ハロウィンはキリスト教の「万聖説（全ての聖人と殉教者を記念するカトリック教会の祝日の一つ）」の前夜に行われるお祭りで、その起源は古代ケルト人の秋の収穫感謝祭だと言われています。

古代ケルト人の1年の終わりは10月31日と定められており、この夜には死者の霊が親族を訪ねたり、悪霊がおりて作物を荒らすと信じられていました。

そこで、秋の収穫を祝い悪霊を追い払うお祭りが行われるようになり、キリスト教にその習慣が伝わり現在のハロウィンとなったと言われています。

ハロウィンと言えば、カボチャのお化け（ジャック・オー・ランタン）をよく目にしますが、実はもともとカブで作られていたって知っていましたか？

ハロウィンの習慣がアメリカに渡った際に、アメリカではカブがほとんど栽培されておらず代わりにたくさんあったカボチャを使用し、今ではカボチャを使用するのが一般化されています。

ハロウィンの由来を見てみると、本来は日本という「お盆」のような行事なのですが、日本では仮装パーティーをするイベントとして広まっています。

近年、日本でも盛り上がっているハロウィンですが少し前まではそれほどメジャーな行事ではありませんでした。日本にハロウィンが広まった要因の一つはディズニーランドだと言われています。



ディズニーランドでは1997年から「ディズニー・ハロウィン」のイベントを行い、2000年からは全身仮装をして来園できる期間を設けており、年々規模が大きくなっています。確かにディズニーの影響は絶大です。

今年も全国で様々な仮装をして楽しむ人たちが盛り上がりそうですね。

17回忌

父が病気で亡くなってから16年が経ち、今年は17回忌の年となりました。亡くなった当時、私は35歳でした。家族とともに病気と闘っていた時間が不安をかき消していた時期でもありました。

その頃を振り返ってみると、あることを心に決めて夢中になってひとつの目標に向かっていったことを思い出します。その目標は「3年間で自分自身のカラーを出す！」と言うことでした。仕事にしてもプライベートにしても夢中になっていたと思います。

人は、人生の中で幾度となく岐路に立つことがあると思いますが、それは“頑張れ”というサインだと思うのです。何かに夢中になる時期が大切であり必要です。

しばらくした時に、ある人からこんなことを言われました。「今はとても悲しいけれど、時間とともに悲しさは寂しさにかわり、やがて懐かしく思えてくる」と・・・。

今、16年の歳月がたってみると、“懐かしさ”ということが分かるような気がします。17回忌という場を、自分自身や家族、そして仕事などを見直す良い機会としていきたいと思っています。



◇社長の悪口ミーティング

ある会社で「社長の悪口ミーティング」を実施しています。名前の通り、社長に対する不満を社員一人ひとり発言するミーティングです。その内容は社長にフィードバックしていきます。

ミーティング開始当初は、社長に対する不満が次から次へと出てきますが、不満をただまとめるだけでは解決策が生まれないことに気づくようになります。「社長は時間にルーズだけど、考えに一貫性があるところは素晴らしい」というように、社長の強みを再認識するようになります。会社の目標と社長の強みをどのように関係づければよいかに気がつき、自発的に考える社員が増えてくる効果もあるようです。